

「質実剛健」

「協同親和」

学び 考え つなごう 夢へ

豊中新聞

平成26年6月 No61

豊明市立豊明中学校

TEL 0562-92-1321

[http://www.](http://www.toyoake-j.aichi-c.ed.jp)

[toyoake-j.aichi-c.ed.jp](http://www.toyoake-j.aichi-c.ed.jp)

思 い 出 の 修 学 旅 行

今年度の修学旅行は5月27日（火）～29日（木）でした。目的地もここ2年間同じである東京・山梨方面です。27日の朝、8時30分に名古屋駅、「銀の時計」近くの地下に集合。偶然、沓掛中学校の集合場所も近くでした。全員集合すると、新幹線のホームに移動し、のぞみ308号（今回は修学旅行専用列車でした）に乗り、一路東京駅へ。昼食は車内で10時過ぎぐらいから食べ始め、11時10分東京駅下車。新しくなった東京駅を抜けて、丸の内南口へ移動。諸注意を受けた後、東京駅をバックに学級写真の撮影。その後、都内分散学習のスタートとなりました。次の集合は、「江戸伝統芸能職人体験」の開始時刻



＜東京駅をバックに記念写真＞

です。希望の多い体験は前後半と分かれますが、ほとんどは午後1時30分現地集合です。「伝統芸能」の内容は、「江戸風鈴（江戸川区）」「江戸切り子（葛飾区）」「江戸文字（墨田区）」「江戸木目込み人形（墨田区）」の四種類です。私は、「江戸木目込み人形」の体験学習に参加しました。スカイツリーのある押上駅から歩いて10分程度の場所にある「すみだ女性センター」で行われましたが、地理不案内のグループもあり、少し遅れてスタートしました。約2時間程度で作品も完成し、再び都内分散学習となりました。次の集合はホテルに午後7時30分までに入ることとなります。人気の訪問地は、浅草周辺とお台場・フジテレビ付近です。夕食を済ませて、オリエンタルホテル東京ベイへ入ります。ほとんどの班が午後7時30分の集合時刻を守ることができましたが、一つの班だけは路線を間違えて反対に向かったということで、30分近く遅れてゴールしました。1日目はこれで終了。

翌朝は、恒例の満員電車でディズニーリゾートへ。シーモランドも修学旅行客や一般のお客さんで溢れかえっていました。午後からは、これも恒例で多くのお土産を購入し、バスに積み込み、山梨県北杜市の清里高原に移動しました。ここではペンション泊です。入村式後、バスで各ペンションに移動し、夕食、入浴、写真撮影などを行い、就寝まで自分たちで楽しく過ごしていました。



＜ブルーベリージャム作り＞

3日目は8時30分より体験学習が始まりました。体験学習の内容は、アイスクリーム・ジャム作り、ほうとう作り、そば打ち、ソーセージ作り、ゴルフ体験などがありました。丘の公園や美味小屋（うまごや）に移動しての体験学習です。できたものはお土産にして持って帰りました。

新 た な 野 外 活 動

修学旅行から2週間後の6月10日（火）から2年生と「美浜少年自然の家」に出かけました。今年度から豊根村の野外教育センターが老朽化などの関係で利用できないため、愛知県の施設である「美浜少年自然の家」で野外活動を市内の小中学校が行うこととなりました。位置は美浜町小野浦で、野間灯台には歩いて20分程度のところにあります。学校を午前8時50分に出発し、1時間弱で到着しますので、時間的には豊根村へ行くのと雲泥の差です。生徒が生活する場所は10人部屋で、シングルベッドが10台置かれています。空調も完備されていますが、この時期は稼働していません。1日目は到着後、入所式、小野浦海岸の散策、昼食後は湯飲みの一刀彫り、キャンプファイヤーのスタントの練習などを行い、夕食を食べ、キャンプファイヤーへと続きます。入浴時間の関係もあり、スタート時はまだ明るさの残る中での開始です。実行委員の生徒の合図でファイヤーが進んでいきます。各学級のスタントも大変盛り上がり、思い出に残るひとときとなりました。最後はファイヤーロードをたどって、宿舎へと移動します。これまでの施設ですと入浴はありませんでしたが、ここでは大浴場と中浴場が完備され、短いながらも入浴により汗を流し、午後10時に消灯となります。



＜砂の造形＞

2日目は、朝の集いから始まります。そして、朝食は食堂でバイキングでの食事となります。種類は多くありませんが、自分の好きなおかずや量で食事ができます。男子はご飯食が多かったですが、女子はシリアルやパンが多いように感じました。朝食の後は、小野浦海岸で「砂の造形」に挑戦です。スコップとバケツで事前に計画した造形物をグループごとに創作します。ジンベイザメやカメなど様々なものを作り、完成後は記念写真を撮り、もとの海岸の姿に戻します。昼食後は、小雨が降り続いたのでDVD鑑賞へと切り替えて過ごしました。その後、飯ごう炊飯のため、2つの会場に移動し、夕食の準備となりました。炊飯場も火をたく場所と食べる場所がきちんと確保されていたので、雨が降っていても、スムーズにカレーライスを作り、食事を終えることができました。夜は、クラスごとに研修室で思い出の絵はがき作りをし、入浴・就寝となりました。

3日目は、朝の集い、朝食と2日目の朝と同じ流れで、この日は退所するための片付けを早々に済ませ、退所式を体育館で行い、南知多ビーチランドに移動です。ここでは、ショーの見学だけでなく、体験学習としてバックヤードツアーが計画されていました。働いている人の仕事の様子を見学し、説明を受けるツアーです。昼食を班ごとに済ませ、午後2時頃集合し、豊明市に向けて出発しました。



＜食堂での食事の風景＞